



吉武工務店 [大阪府東大阪市]

まずは「働きやすい場づくり」から 専用更衣室が女性初入社の決め手

オフィスリフォームや新築住宅を手がける吉武工務店。2011年10月17日を「第2創業記念日」と位置付けて以来、若者の採用活動に意欲的に取り組んできた。2016年11月には、事務所に女性専用の古民家風更衣室・トイレを増設。女性を大切にする姿勢が学生の心に届き、昨年4月には念願の女性社員が初入社した。5年前まで社員の平均年齢は56歳だったが、現在は36歳まで若返りつつある。今後も積極的に女性を採用していく考えだ。



【左上】初の女性社員となる久保葵さん（左）と吉田文彦社長
【右】女性専用の古民家風更衣室「龍宮城」内観
【左下】吉田社長自ら選んだ骨とう品は、現在は久保さんが収納家具として使用している
【中央下】事務所に設置されているトイレ

同社が女性採用に向けての活動を本格化したのは今から2年前。空間提案における細やかさや鮮やかな配色など、社内に女性らしい新しい風を取り入れるため、「まずは働きやすい環境をつくらう」と吉田文彦社長が決断したのがきっかけだった。

ターニングポイントとなった第2創業記念日の直後、若者に好感を持ってもらおうと、まずは事務所全体を自然素材をふんだんに使用したあたたかみのある空間に大改装。社員が使用するデスクにも杉の一枚板を使用するなど、木の匂いがただよう落ち着いた空間へと生まれ変わらせた。

改装後は、中小企業が大学・専門学校に集まって行う合同説明会に参加。第2段階として事務所で会社説明会を開催し、学生とのコミュニケーションを繰り返した。その結果、1年に1人ずつコンスタントに学生を新卒採用できるようにはなったが、女性は入社して来なかった。吉田社長は「もっと女性が働きたいと思

える場でなければ入社してもらえない」と痛感した。

そこで、女性専用の古民家風更衣室「龍宮城」を設置しようと思いついた。女性社員が快適に休憩できるよう、大型の化粧鏡を備え付けたトイレも完備。吉田社長自ら骨とう品を買い付け、収納家具として使えるよう据え置いた。壁面に設けられた桜色の「いろどり障子」から透けて漏れる明かりが安らぎを感じさせる、ほっと癒される空間に仕上げた。

当時、学生として「龍宮城」を見学した同社の久保葵さんは、「会社全体で女性を大切にしていこうとしているのが伝わってきた」とし、「それを見たから（初の女性社員であることに対し）不安には思わなかった」と笑顔で振り返る。吉田社長は「将来的には龍宮城から女性社員たちのにぎやかな話し声が聞こえてくるのが目標」とし、今後の女性採用に、さらに意欲を燃やす。

現在久保さんは、設計営業の助手を行いつつ、年4回顧客に配布する広報誌制



株式会社吉武工務店（大阪府東大阪市）

1965年設立、社員数13人。提案型オフィスリフォーム「創造空間（クリエイティブワークスペース）」や新築住宅を手がける。

作などの広報業務も手掛けるなど、若い女性の感性を生かしマルチに活躍している。今後も久保さんのような女性社員を雇用しながら、「2年後には新しい支店を増やすことが目標」（吉田社長）だという。女性社員が元気な、より活気ある会社を目指し、今後も「女性が働きたくなる場づくり」を進めていく。